

フォトレポート  
茨城がほこる秋の味覚を下妻で6万人が堪能

茨城をたべよう  
収穫祭



メインステージで下妻市をPRする歌手の山田麻里子さん

茨城がほこる秋の味覚を紹介しようと、茨城県と下妻市が主催した「茨城をたべよう収穫祭」が10月24日(土)・25日(日)の両日、砂沼サンビーチをメイン会場に行われ、県内外から6万人が訪れました。

「産地消」がテーマの収穫祭には、県内の新鮮で安心な農林水産物が集結。「茨城をたべよう福袋」の限定販売や「常陸牛無料試食」、「100円試食ストリート」などが人気を集める中、「県西うまいもんストリート」では、下妻市が産地として有名な「梨」を使った「梨ジャム」の販売など、下妻の特産品や観光PRを行いました。

メインステージでは、鎧塚俊彦シェフによるトークショー&スイーツ作り実演や、下妻市出身のお笑いコンビ「江戸むらさき」によるお笑いライブが行われ、来場者を楽しませていました。



秋の味覚を求めてにぎわう「県西うまいもんストリート」



下妻市出身の料理人・佐藤雄一氏による「日本料理 雄」のキッチンカーに長蛇の列



「いはらき花フェスタ」も開催



観客席を埋め尽くす「江戸むらさき」お笑いライブ



鎧塚シェフ特製の柿のスイーツ、おいしいです!

おいしい笑顔  
たのしい笑顔  
いっぱい  
でした!!



お得な「茨城をたべよう福袋」並んで買いました!



大ピンゴ大会で「常陸牛」当たっちゃいました!



キングポーク、やわらかくておいしいです!



イチゴのシェイク、甘くておいしいよ!



茨城国体の缶バッチ、いっぱい作っちゃ!

スポーツ&カルチャー  
がんばる小・中学生!!

- 小学生**
- 第15回全国小学生ソフトテニス大会茨城県予選会  
準優勝 低学年女子ダブルス  
海老澤帆夏・小林桃子ペア (下妻JSTクラブ) 【全国大会出場】
- 中学校**
- 平成27年度心の輪を広げる体験作文  
最優秀賞 中学生の部 福田佳織 (下妻中3年)
  - 第59回茨城県発明工夫展  
特賞 児童・生徒の部 飯島真央 (千代川中3年)

ほっとレポライン  
Hot Repo Line  
市民の声

戦後70年の節目を迎えて

下妻市戦没者追悼式が11月25日、下妻市民文化会館で行なわれました。戦後70年の節目の年を迎える中、戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に伝えていきたいと活動する下妻市遺族会の会長を務める飯泉正夫さん(伊古立)のお便りを紹介します。

先の大戦から早70年の歳月が過ぎました。下妻市内出身者で散華された英霊1128柱に衷心より哀悼の誠を捧げます。

太平洋戦争は熾烈を極め、下妻市から軍人として出征された方々も多く、陸軍は中国大陸、ニューギニア、ビルマ(現ミャンマー)、パラオ諸島のペリリュー島、フィリピン、海軍は太平洋全域に及んでいます。

戦う武器弾薬もなく、食料不足、ましてや戦場で傷ついた多くの負傷兵は治療もされず、遺体すら埋葬もできない悲惨なものでした。

遺族にとって、あの悲惨な戦争と親兄弟等の肉親を失った悲しみは、生涯忘れることができません。

しかし、太平洋戦争から70年、戦没者を知る遺族もわずかとなり、戦没者に対する崇敬の念も徐々に薄れ、先の大戦が遠いものとなってしまいました。

私たち戦没者の遺族は、このような悲しみを胸に秘め、いかなる理由があっても二度と戦争を起こしてはならない、私たちのような遺族を出してはならない、これが遺族の原点であると考えます。

今日の平和と繁栄は、戦没者の多くの犠牲の上に築かれたものです。戦争を知らない多くの皆さんにお願いしたいことは、戦争の悲惨さを知り、紛争を解決する手段として戦争は絶対にやってはならないと充分に理解していただきたいということです。

やがて太平洋戦争を知らない市民が全員となるでしょう。平和の大切さを後世に残すためにも遺族会の活動に参加してほしいと思います。



大人も子どもも絵本でみんな笑顔  
図書館まつり「メオトよみ絵本ライブ」11月14日

絵本作家の平田昌広さんと景さん夫妻による「メオト読み絵本ライブ」が、市立図書館で行われました。図書館まつりのイベントの一環で、親子連れや絵本ファンなど約100人が集まりました。

夫妻で役を演じ分けて絵本を読む独特のライブは、絵を描いて物語を展開したり、クイズを出したりしながら、平田夫妻の「ばんつくったよ」「おかん」など5作品を披露。ライブの途中には、童謡のどんぐりころころを下妻名産の梨にかけた替え歌で歌い、参加者全員で楽しみました。

友人と参加した飯泉紗依ちゃん(小学3年)は、「2人で掛け合って聞かせてくれたり、目の前で絵を描いてくれたり、普通の絵本読みとは全く違って楽しかった。似顔絵を描いてもらったので家族みんなに早く見せてあげたい」と笑顔でした。



夫婦の絶妙な掛け合いで聞かせる絵本よみ

先の大戦において本市関係の戦没者は1,100余名の多きに上っています。

戦没された御霊に対し、追悼の意を捧げるとともに、市民挙げて平和を祈念し、市勢発展に決意を新たにしようと「下妻市戦没者追悼式」が、市民文化会館で開催されました。式典で稲葉市長は「国民の大半が戦争の悲劇を知らずに育った世代である今日、史実を風化させることなく次の世代に語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた重要な使命であり、恒久平和の実現と繁栄への貢献に全力を尽くしていくことをここに固くお誓い申し上げます」と式辞を述べ、参列した招待者や遺族関係者など約300人が献花を行いました。

平和と市勢発展を祈念  
下妻市戦没者追悼式 11月25日



戦没者に花を手向ける参列者